

別記様式

普通階・無窓階算定書 (記載例)

令和 ○年 ○月 ○日

防火対象物名称：尾道市消防局

提出日を記載

(1階)

算定者名：○○ ○○

床面積(A)	基準開口部(A/30)		有効開口部面積合計			算定結果	消防機関判定
500㎡	16.66㎡		23.75㎡			<input checked="" type="checkbox"/> 普通階 <input type="checkbox"/> 無窓階	<input type="checkbox"/> 普通階 <input type="checkbox"/> 無窓階
開口部位置	建具記号	開口部種別	ガラス種別・厚さ等	床からの高さ(m)	幅×高さ×数(m)(m)	開口部面積小計(㎡)	備考
東側	AW-1	引違窓	PG FL3+A6+FL5	0.9	1.6×1.2×4	7.68	
〃	AW-5	FIX窓	FL:5	0.9	0.7×1.2×3	2.52	
西側	ADW-1	引分戸 自動ドア	FL:6	0	2.0×2.5×1	5.00	停電時手動開放
南側	SS-3	シャッター	SS:1.0	0	2.5×2.7×1	6.75	水圧開放装置付
北側	SD-1	片開戸	鋼板:1.6	0	0.9×2.0×1	1.80	ガラス小窓付き
	備考2参照			備考3参照			備考5参照
		備考4参照			備考1参照		

- 備考1 数値はその都度、小数点第3位以下を切り捨てること。
- 備考2 「建具記号」欄には、大型開口部（直径1m以上の円が内接することができる開口部、又は幅75cm以上、高さ1.2m以上の開口部）については、その建具記号を○で囲むこと。
- 備考3 「床からの高さ」欄には、床面から開口部下端までの高さを記入すること。
- 備考4 「開口部種別」欄には、引き違い窓、FIX、縦軸回転窓、シャッター等の種別を記入すること。
- 備考5 「備考」欄には、水圧開放装置付、水圧開放装置（非常電源付）、ガラス小窓付、停電時手動開放等を記入すること。
- 備考6 算定書の次に配置図、平面図、キープラン及び建具表をとじて、有効と算定した開口部を朱色で示すこと。
- 備考7 「消防機関判定」欄には、記入しないこと。